

Godox

リチウムモータトップ
フラッシュライト

V850^{III}



合格证
QC PASS

取扱説明書

深セン市神牛摄影器材有限公司

住所：深圳市宝安区福海街道地尾社区耀川工业区工場2棟
電話：0755-29609320(8062) FAX：0755-25723423
メールアドレス：godox@godox.com

godox.com

Made in China



本製品を使用する前に、次の作業を行います：
安全に使用できるように、このマニュアルをよくお読みください。今
後のお問い合わせに備えて、この取扱説明書を保存しておいてくださ
い。

前書き

神牛製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

神牛リチウム電機頂フラッシュV850III用神牛無線Xシステム、内蔵2.4G無線伝送、AD360II-C、AD360II-N、TT685C、TT685N、X1T-C、X1T-Nなどの無線制御システムと互換性がある。キャノン、ニコン、ペンタックス、オリンパスなど、各種ブランドの標準のホットシュー付き一眼レフカメラに適用されています。

製品の特徴は次のとおりです：

- ・GN60(m ISO 100,@200mm),22級光調整(1/1-1/128)
- ・プロのリチウム電気、上質な体験
- ・2600mAhリチウムポリマーバッテリー、フルパワー

500回のフラッシュ、1.5秒のクイックリターン

- ・内蔵2.4Gワイヤレス

接収と発信が一体になり、超長の距離、無限の創造性を実現します。

- ・機能を広げ、無制限に楽しめます

高速同期、ワイヤレス動作、高速ストロボ、手動アシストフォーカス

- ・光学研究、安定的な出力

高速ストロボ、出力輝度と色温度が均一、光の分布が均一

- ・大まかなパネル、簡単とスピーディ

ハイビジョンLCDスクリーンの直観表示、三段階の操作で、操作性に優れています。

警告

- ▲ 乾燥したままにしておいてください。
- ▲ 製品を無断で分解しないでください。製品に不具合が生じた場合は、当社または認定サービスマンによる点検修理が必要です。
- ▲ 子供に本製品に触れさせないでください。
- ▲ 分解、衝突、圧搾、火中への投入を禁止します。ひどく膨れた場合は、そのまま使用しないでください。50℃を超える高温の環境に置かないでください。
- ▲ フラッシュヘッドを人の目（特に赤ちゃんの目）に向けしないでください。短時間で視覚障害を起こす可能性があります。
- ▲ フラッシュライトは、化学物質、可燃性ガス、その他の特殊な状況下でフラッシュライトから発せられる瞬間的な強い光に敏感で、火災や電磁障害の原因となる可能性のある特殊な物質の近くでは使用しないでください。このような場合には、警告表示に注意してください。
- ▲ 本製品は防水ができません。雨の日や湿気のある環境では防水に注意してください。
- ▲ 障害が発生した場合は、直ちにフラッシュの電源をオフにしてください。

目録

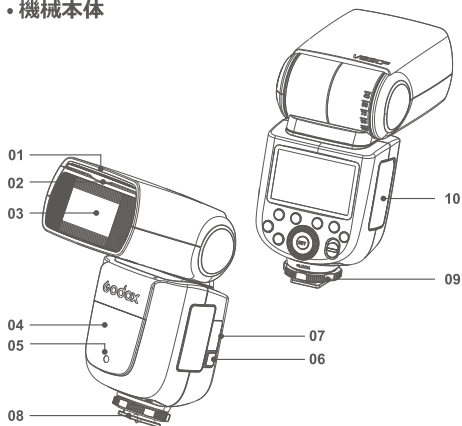
01	前書き
02	警告
05	部品名
	本体
	コントロールパネル
	LCD液晶表示パネル
	標準装備品
	オプション購入の部品
07	バッテリー
07	フラッシュの着脱
08	フラッシュ使用
	電源管理
	パワー選択
	ZOOM：フラッシュキャップ範囲の設定
	M通常モード
	マルチストロボモード
	S1調光モード
	S2調光モード
	高速同期モード
	フォーカスライトカスタマイズ機能
	ブザー制御
	ワイヤレスフラッシュ撮影：無線(2.4G)転送
	同期ジャックトリガ
	睡眠時間のカスタマイズ機能
	C.Fnカスタマイズ機能
	保護機能
13	撮影テクニク
14	仕様パラメータ
16	メンテナンス
17	

本説明書で使用されている規約について

- この取扱説明書の手順は、カメラとフラッシュの電源スイッチがオンになっていることを前提としています。
- 参照ページ番号は、(**ページ)で示されます。
- この取扱説明書では、次の警告記号を使用しています：
▲この「注意」記号は、撮影時の問題を回避するための警告を示しています。
■この記号は補足情報を提供します。

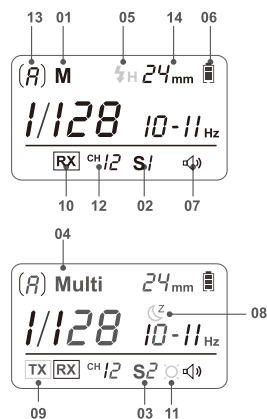
部品名

● 機械本体

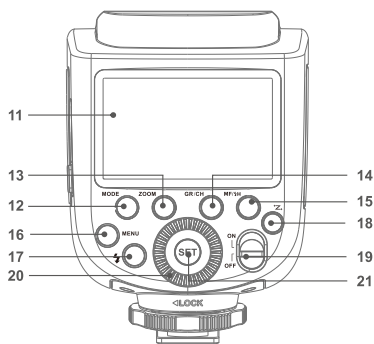


- | | |
|---------------|----------------|
| 01. アイライト | 06. バッテリ外しボタン |
| 02. 広角乱視板を内蔵 | 07. 同期ジャック |
| 03. フラッシュヘッド | 08. ホットブーツ |
| 04. ワイヤレスセンサ | 09. ノブを固定する |
| 05. 補助フォーカスライ | 10. バッテリカートリッジ |

● LCD液晶表示パネル



- | | |
|---------------------|----------------|
| 01. <M>手動フラッシュモード | 08. <☾>スリープ状態 |
| 02. <S1>S1プリフラッシュ防止 | 09. TXマスターモード |
| 03. <S2>S2プリフラッシュ防止 | 10. RX依存モード |
| 04. <Multi>高速ストロボ | 11. <Z>フォーカスライ |
| 05. <4H>高速同期トリガ | 12. チャンネル |
| 06. バッテリー残量表示 | 13. グループ |
| 07. <v>音を小さくする | 14. ズーム焦点距離 |

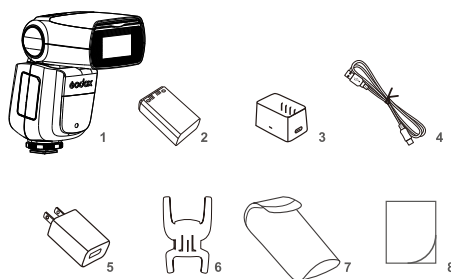


● 制御面板

- | | |
|--|------------------------|
| 11. ディスプレイ | 16. MENUフラッシュメニュー |
| 12. MODEフラッシュモードの選択 | 17. フラッシュボタン/クールバックLED |
| 13. ZOOM焦点距離の設定 | 18. Zワイヤレス設定ボタン |
| 14. GR/CHグループ/チャンネル設定(長押しボタン) | 19. ON/OFF電源スイッチ |
| 15. MF/4H 補助フォーカスライトスイッチ/高速同期ボタン(長押しボタン) | 20. 調整ダイヤル |
| | 21. SET設定ボタン |

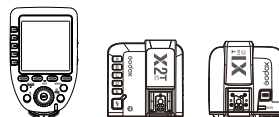
● 標準装備品

1. ライト本体 2. リチウムバッテリー 3. USB充電台 4. 充電器電源コード
5. 充電器 6. ミニ底座 7. 保護バック 8. 取扱説明書



● オプション購入の部品

当社の以下の写真アクセサリと組み合わせて使用することができます。最高の撮影効果と使用体験を得ることができます：XPro、X2、XI TTLフラッシュリーダー、ミニ柔らかな光箱、反射板、蜂の巣、カラーシート、ビーム布など。



バッテリー

● 特性

- 1.本品はリチウムポリマーバッテリーを採用して、500回の繰り返し充放電をサポートして、使用寿命が長いです。
- 2.安全で信頼があり、内部回路は過充電保護、過放電保護、過電流保護、ショート保護があります。
- 3.標準のバッテリーチャージャーを使用すると2.5時間程度でフル充電できます。

● 注意事項

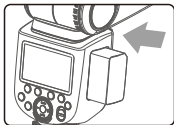
- 1.プラスとマイナスのショートを避けます。
- 2.バッテリーには防水機能がないので、バッテリーを霧や水に浸しません
- 3.子どもの手の届きにくい場所に置いてください。
- 4.バッテリーを24時間以上充電しないでください。
- 5.バッテリーは、涼しく、乾燥し、かつ、換気された場所に保管しなければなりません。
- 6.バッテリーを火の中に近づけないでください。
- 7.廃棄後のバッテリーの使用は、現地の規定に従ってください。
- 8.バッテリーが3ヶ月以上使用されていない場合は、バッテリーをフル充電してください。
- 9.長期間使用しない場合は、60%程度まで充電して置いてください。
- 10.500回以上充放電を繰り返すかバッテリーを3年以上使用する場合は、新しいバッテリーへの交換をお勧めします。

● 電池の取付及び分解



1 バッテリーを取り外します。

- バッテリーボタンを親指で押し、手でバッテリーを押し下げると、バッテリーを取り出すことができます。



2 バッテリーを取り付けます。

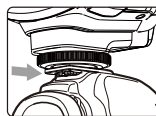
- クリップが引っ掛かるまで、指示された方向にリチウム電池を電池ピンに挿入します。

● 電池電気量の指示

リチウム電池をフラッシュライトに正しく取り付けると、フラッシュライトに電力が供給されます。使用時にフラッシュ画面のバッテリーアイコンを確認すると、いつでも充電状態を把握できます。

バッテリー残量表示	意義
3ス	フルパワー
2マス	中電気
1マス	低電気
無格	電力が少ないので、すぐに充電してください。
無格明滅	電力が不足しています。 この状態では、フラッシュの動作はサポートされません。 備考：この状態は、できるだけ早く（10日以内）充電してから、使用または設置するようにしてください。

フラッシュの着脱



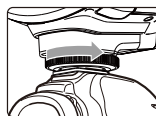
1 フラッシュを取り付けます。

- フラッシュボタンを左に回すとカメラのホットブーツが完全に挿入されます。



2 フラッシュを押しします。

- フラッシュボタンを右に回すとホットブーツがロックされます。



3 フラッシュを外します。

- 回転ボタンのボタンを押し左に回転させると、ホットシューのロックが解除されます。

フラッシュ使用

1. 電源管理

電源スイッチON/OFFでV850IIIの開閉を制御し、長時間使用しない場合は電源を切ってください。本製品にはスリーピング機能があり、長時間無人で操作するとフラッシュが睡眠状態になるよう設計されています。具体的な睡眠時間の設定は、後述を参照してください。

2. パワー選択

フラッシュ出力は、1/128~1/1のフル出力の間で1/3段階ずつ設定することができます。適切なフラッシュ露出を得るには、手持ちのフラッシュ測光器を使用して、必要なフラッシュ出力を決定します。調整つまみ<C>を回すと、次のようにフラッシュ出力が調整されます。

フラッシュ出力指数の低減 →

1/1	1/1-0.3	1/1-0.7	1/2	1/2-0.3	1/2-0.7	1/4	...	OF
	1/2+0.7	1/2+0.3		1/4+0.7	1/4+0.3		...	

← フラッシュ出力指数の増加

▲表示画面が「OF」と表示されている場合は、フラッシュ出力なし、すなわち、フラッシュを立ち上げることができないことです。

3. ZOOM : フラッシュ範囲の設定

手動で、20~200Mメートルのレンズ焦点距離に合わせてフラッシュ範囲を設定します。ZOOMボタンを押し、調節つまみ<C>を回転させると、フラッシュの範囲を変更できます。

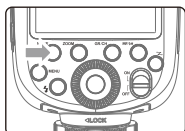
▲フラッシュの範囲を設定するときは、レンズの焦点距離をカバーしていることを確認してください。これにより、写真のエッジが影付きにならないように注意してください。

4. M通常モード

MODEモード選択ボタンMODE>を押すと、フラッシュをMモードにすることができます。Mモードでは、フラッシュをカメラまたはフリップフロップのホットシューに取り付けることができます。撮影時にフラッシュ出力を設定し、カメラを調整してシャッターを押すだけで、カメラの同期信号でフラッシュが発光します。このモードでは、ライトコントロールはオフになっています。

5. マルチストロボモード

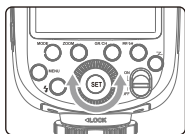
MODEモード選択ボタンMODE>3を押すと、フラッシュがMultiモードになります。マルチモードでは、ストロボ光を使用して、一連の素早い閃光を発することができます。1枚の写真に移動する物体の複数の画像を撮影できる。フラッシュ周波数(Hzで表示される1秒あたりのフラッシュ回数)、フラッシュ回数、フラッシュ出力を設定できます。



1 MODEモード選択ボタンを押すとMultiが表示されます。



2 SET設定ボタンを押すと、調整項目を選択して点滅。



3 <OK>つまみを回して、数値を調整します。

シャッタースピードを計算します

ストロボ点灯中は、点滅が停止するまでシャッターを開いた状態にしておきます。次の式を使用してシャッタースピードを計算し、カメラで設定します。

フラッシュ回数/フラッシュ周波数=シャッタースピード

例えば、フラッシュ回数が10、フラッシュ周波数が5Hzの場合、シャッタースピードは少なくとも2秒になります。

- ❗ * 反射の強い被写体は暗い背景の前にストロボをフラッシュを使用するとより効果的です。
- * 三脚とリモコンの併用が推奨されます。
- * ストロボ出力1/1および1/2の場合はストロボ光を設定できません。

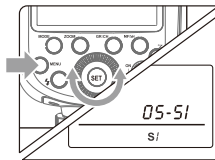
最大フラッシュ回数

シュ	フラッシュ	1	2	3	4	5	6-7	8-9
1/4		7	6	5	4	4	3	3
1/8		14	14	12	10	8	6	5
1/16		30	30	30	20	20	20	10
1/32		60	60	60	50	50	40	30
1/64		90	90	90	80	80	70	60
1/128		100	100	100	100	100	90	80

シュ	フラッシュ	10	11	12-14	15-19	20-50	60-199
1/4		2	2	2	2	2	2
1/8		4	4	4	4	4	4
1/16		8	8	8	8	8	8
1/32		20	20	20	18	16	12
1/64		50	40	40	35	30	20
1/128		70	70	60	50	40	40

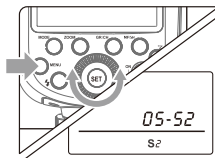
▲ ストロボ時の過熱によるストロボヘッドの破損を防止するために、10回以上連続してストロボ連写を行わないようにします。

6. S1調光モード



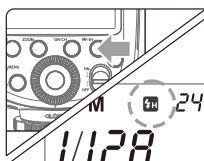
- MENUボタンを押してユーザーメニューに入ります。
- SETボタンを押してOSを選択し、<OK>つまみを回して、OFF/S1/S2を選択します。OSモードでは、フラッシュはサブフライトとして使用でき、手動フラッシュ環境に適したさまざまなライティング効果を生成します。これはメインフラッシュの最初のフラッシュと同期してフラッシュを起動し、ワイヤレスフラッシュリーダーを使用した場合と同じ効果を発揮します。

7. S2調光モード



- MENUボタンを押してユーザーメニューに入ります。
- SETボタンを押してOSを選択し、<OK>つまみを回して、OFF/S1/S2を選択します。S2モードでは、サブフライトとして使用でき、TTLフラッシュ環境に適しています。プリフラッシュ防止機能があり、ワンタイムプリフラッシュ機能付きのカメラを使用すると、調光で同期撮影が可能です。メインフラッシュの2回目のフラッシュと同期してフラッシュがトリガーされます。

8. 4H高速同期モード

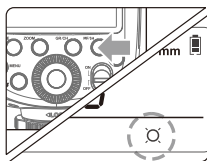


- MF/4H ボタンを2秒間長押しするとフラッシュ4Hモードに入ります。
- 4H 高速同期モードを終了するには、MODEモードを押すか、<MF/4H> ボタンを2秒以上長押しします。
- 高速同期モードでは、高速同期リモコンを使用して、カメラのシャッタースピードにフラッシュを高速で同期させることができます。最大1/8000秒(カメラによって決定されます)。高速同期モードは、絞りを使用して人物像を優先的に塗りつぶす場合に便利です。

❗ 注：
 * 高速同期モードで動作するには、以下のリモコンを使用する必要があります。(TTLワイヤレスブリータX1/X2/XProシリーズ)
 * V850IIIはカメラのホットシューに装着すると高速同期ができません。

▲ 高速点滅時の過熱によるフラッシュヘッドの損傷を防止するため、高速同期点滅を15回連続して実行した後、システムは自動的に熱保護に入り、正常よりも10秒遅くなります。

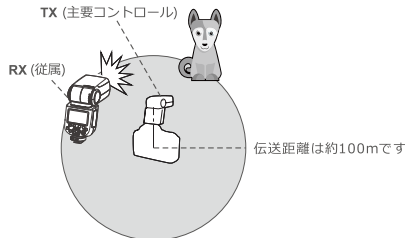
9. フォーカスライトのカスタマイズ機能



- 低照度や低コントラストなど、カメラがオートフォーカスできない場合は、MF/4H ボタンを押すことで、フォーカスライトが点灯し、カメラの合焦を助けることができます。フラッシュがない場合、補助フォーカスライトは数秒後に自動的に消え、最後のフラッシュからフォーカスライトが自動的に消えるまでの時間は、ユーザーが自分で設定することができます。工場のデフォルトは10秒です。
- MENU ボタンを押すと、カスタム設定状態になります。SET キーを押して「FC」調整状態にします。LCD に「FC」と表示されます(FCはフラッシュがないと補助フォーカスライトが自動的にオフになります)。
- < > 調整ノブを回してフォーカス時間を調整します。ZOOM ボタンを押して上のレベルに戻ります。

- V850IIIは神牛ワイヤレスXシステムを採用しており、XProシリーズ、X2Tシリーズ、X1Tシリーズ、QT600IIK V860IIシリーズ、TT685シリーズ、V860IIIシリーズ、VIシリーズ、TT585シリーズ、V350シリーズ、TT350シリーズ、TT600シリーズ、MSシリーズ、DPIIIシリーズ、SKIIシリーズ、AD360IIシリーズ、AD1200Pro、AD400Pro、AD100Pro、AD200、AD600Proシリーズ、AD200Pro、AD300Proワイヤレスコントロールを兼用できます。

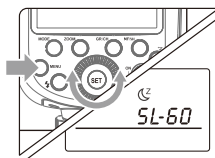
位置付けと動作範囲 (ワイヤレスフラッシュ撮影の例)



12. 同期ジャックトリガ

同期ジャックの仕様は2.5mmで、ここには同期コードまたはトリガプラグを挿入してフラッシュを同期させることができます。

13. 睡眠時間のカスタマイズ機能



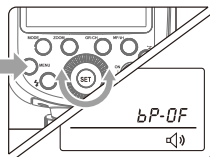
- スリープ機能を搭載しているため、長時間操作しないでバッテリーを消耗しないように設計されています。
- MENU ボタンを押すとカスタム設定になり、SET キーを押すとSL調整状態になります。LCDには「SL」(Sleepはスリープ)と「スリープ時間」が表示されます。スリープ時間は10分に設定されており、< > を回すことでスリープ時間を変更したり、スリープ機能をオフにしたりすることができます。MENU ボタンを押して、前のレベルに戻ります。

睡眠時間の設置	意義
0F	睡眠モードがオフになっていることを示します。フラッシュは自動的に睡眠しません
3	睡眠時間を3分に設定します。
10	睡眠時間を10分に設定します。
30	睡眠時間を30分に設定します。
60	睡眠時間を60分に設定します。

- フラッシュが睡眠状態になると、ディスプレイに が表示されます。
- フラッシュを呼び覚ますには、フラッシュの任意のキーを押すか、カメラのシャッターを押すか、トリガフラッシュテストボタンを押すことができます。

備考：特に必要がないとき、睡眠時間を短く設定すると、フラッシュの動作時間が長くなります。

10. ブザー制御



- ブザー機能が付いてお、MENU ボタンを押すことで、設定をカスタマイズすることができます;SET キーを押して「bp」調整状態に移行します。
- ON : オン、OF : オフ
- ブザーがオンの状態では、ディスプレイの < > 記号が表示されます。

11. ワイヤレスフラッシュ撮影：無線(2.4G)伝送

- V850IIIは、無線によるワイヤレス撮影機能を備えたフラッシュ(マスター/スレーブ)で、高度なワイヤレスマルチフラッシュ照明で簡単に撮影できます。
- ワイヤレスモードの設定： ワイヤレス設定ボタンを押してTX/RXモードを設定します。
- チャンネル設定： <GR/CH> ボタンを2秒間CH横の数値が点滅するまで長押しすると、ノブからチャンネル1~32を設定できます。
- グループ設定： <GR/CH> ボタンを短押ししてウジを設定。TXモードとRXモードにすべて：A/B/C/D/Eがあります。
- ID設定：MENUを押してメニューに入り、SETボタンを押してIDを選択し、ノブでID番号0F/01-99を設定します。

14. C.Fnカスタム機能

番号	機能	設置と説明	操作説明
SL	睡眠時間設定	設定可能な時間： <3> 3分 <10> 10分 <30> 30分 <60> 60分 <OF> 无(OFF)	1. MENUボタンを押してカスタム設定の状態に入ります。 2. <⊙>調節つまみを回して睡眠時間を調節する。 3. MENUボタンを押して戻ります。 *任意のボタンを押すと、目覚めます。 *需要がない時は睡眠時間を短く設定してください。これはフラッシュの動作時間を延長することができます！
FC	フォーカスアシストオートクローズ時間設定	<10> 10秒 <20> 20秒 <30> 30秒	1. MENUボタンがカスタム設定状態になります 2. SETボタンを押して「FC」調整状態に入ります 3. <⊙>調節つまみを回して調節することができます。 4. MENUボタンを押して戻ります。
BP	ブザー機能設定	<ON>オン <OF>オフ	1. MENUボタンがカスタム設定状態になります。 2. SETボタンを押して「bp」調整状態に入ります。 3. <⊙>調節つまみを回して調節することができます。 4. MENUボタンを押して戻ります。
BL	バックライト設定	ボタンが操作されたときのバックライトの点灯を以下のように設定することができます： <ON>：点灯し続けます <12>未満：12秒間点灯 <OF>：オフ	1. MENUボタンがカスタム設定状態になります。 2. SETボタンを押して「bp」調整状態に入ります。 3. <⊙>調節つまみを回して調節することができます。 4. MENUボタンを押して戻ります。
OS	受光モード	<OF>オフ <S1> S1モード <S2> S2モード	1. MENUボタンがカスタム設定状態になります。 2. SETボタンを押して「OS」調整状態に入ります 3. <⊙>調節つまみを回して調節することができます。 4. MENUボタンを押して戻ります。
ID	Id番号の設定	<OF>オフ <01~99>任意選択	1. MENUボタンがカスタム設定状態になります 2. SETボタンを押して「id」調整状態に入ります 3. <⊙>調節つまみを回して調節することができます。 4. MENUボタンを押して戻ります。

・フルディスプレイ：MENU+MODEを押しながら電源を入れると、画面が鮮明に表示されます。

・ソフトウェアのバージョン番号を表示：SETキーを押しながら電源を入れると、バージョン番号が表示されます。

保護機能

1. 熱による保護

・フラッシュヘッドが過熱して破損するのを防ぐために、1/1出力で30回以上の高速連続フラッシュを行わないでください。30回連続して点滅した後、少なくとも10分間は点滅灯を冷やすようにしてください。

・30回以上連続して点滅した直後にさらに点滅を続けると、内部の過熱防止機能が作動し、充電時間が10秒以上になる場合があります。この現象が発生した場合は、フラッシュを約10分間冷却すると、フラッシュは正常に戻ります。

・プロテクションが有効になると、ディスプレイにシンボルが表示されます。

ホットプロテクトを有効にする連続フラッシュ回数：

回数	ZOOM (mm)	20 - 200
レベル		
1/1		35
1/2		50
1/4		100
1/8		200
1/16		300
1/32		500
1/64		1000
1/128		2000

高速同期モードで、熱保護機能を有効にする連続フラッシュ回数：

回数	ZOOM (mm)	20 - 200
レベル		
1/1		30
1/2		30
1/4		34
1/8		40
1/16		50
1/32		50
1/64		60
1/128		60

2. その他の保護

機器を安全に動作させるために、システムは常に予防的に保護されています。次の記号を参考にしてください：

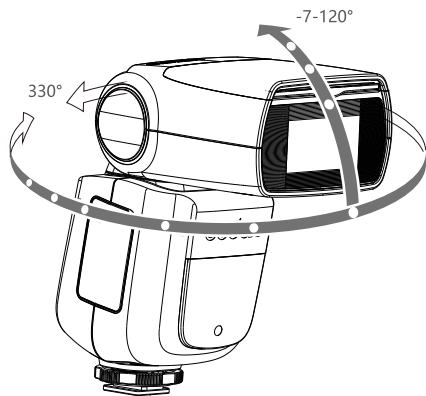
LCD表示	警告内容
E1	フラッシュバックシステムで問題が発生しました。フラッシュバックできませんでした。電源を入れ直してください。解決できませんでした
E2	装置内の温度が高すぎます。10分間点滅を停止してください
E3	フラッシュライトの両端電圧が高すぎるため、修理が完了しました
E9	ファームウェアのアップグレードが間違っています。正しいファームウェアのアップグレードを許可してください

撮影テクニック

反射フラッシュ

フラッシュヘッドを壁や天井に向けることにより、被写体を照明する前に壁面でフラッシュ光を反射させます。これにより、被写体の背後の影を軽減することができます。より自然な撮影効果を得ることができます。反射閃光と呼ばれています。

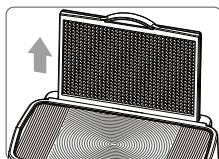
フラッシュヘッドを回転させて反射方向を設定します。



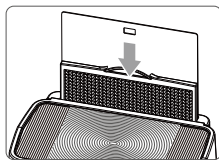
- 壁や天井から遠すぎると、反射光が弱すぎて露出不足になることがあります。
- 壁または天井は、効率的な反射を容易にするために、平らで白いものである必要があります。反射面が白くない場合は、写真の色がずれます。

目付きの光を作り出します

アイライトを使用すると、被写体の目にアイライトを作成し、顔の表情をより鮮明にすることができます。



- 1 フラッシュヘッドを90%上方に回転させます。



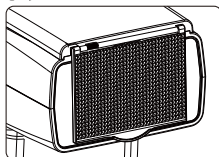
- 2 広角乱視板を引き出し、同時にアイライトを取り出します。

- 3 広角乱視板を押し込みます。
 - 広角乱視板のみ押し込みます。
 - フラッシュを反射する場合と同じ手順を実行します。

- ▲ ● フラッシュヘッドを前に向けて90度回転させてください。フラッシュヘッドを左右に回転させれば、アイコンタクトは発生しません。
- 最高のアイコンタクト効果を得るためには、被写体がカメラの1.5m/4.9フィート以内にあることはできません。

広角乱視板の使用

広角乱視板を引き出してフラッシュヘッドの上に配置することで、フラッシュの範囲を拡大し、フレア効果をより柔らかくします



- 広角乱視板を引き出し、フラッシュヘッドの上に置きます。閃光の範囲が広がります。
- アイライトパネルも同時にポップアップします。眼光板を押し戻してください。

▲ 神牛2.4G無線漏れの原因と解決策

- 1.外部環境2.4G信号干渉（無線基地局、2.4Gwifiルーティング、Bluetoothデバイスなど）
→チャネルCH設定(推奨+10)を調整して、干渉しないチャンネルを見つけたか、動作中に他の2.4Gデバイスをオフにしてください。
- 2.フラッシュが再充電されているか、または再充電速度が遅写速度に追いついているか（フラッシュレディLEDが点灯しています）、過熱保護や他の異常状態になっていないかを確認してください
→フラッシュのギアを下げる。
- 3.ストロボとフラッシュの距離が近すぎないか(v0.5m)
→ストロボの「近接ワイヤレスモード」をオンにしてください；
XIシリーズ：点滅ボタンを押したままにし、LEDが2回点滅するまでシステムの電源を入れます。Xproシリーズ：C.Fn-DISTを0-30mに設定します。
- 4.フラッシュリーダーと受信側の機器が低電力状態にあるかどうか
→電池を交換してください(フラッシュ電池は1.5V二次アルカリ電池を使用することを推奨します)。

仕様パラメータ

番号	V850III
パワー(1/1ギア)	76Ws
フラッシュインデックス	GN=60 (ISO100、メートルを単位にします) (1/1ギア、200mmの焦点距離)
フラッシュカバー範囲	20~200ミリ <ul style="list-style-type: none"> ● マニュアルズーム ● フラッシュヘッドの回転/傾斜、水平6~330°、垂直-7°~120°(フラッシュ反射)
フラッシュ持続時間	1/300秒~1/20000秒
● ワイヤレスフラッシュ (無線2.4G伝送)	
ワイヤレス機能	マスター、スレーブ、オフ
主制御ユニットグループ	A, B, C, D
制御可能な子機グループ	A, B, C, D, E (グループEはXシリーズのフラッシュリーダーを使用して制御可能)
転送範囲(約)	100m
チャンネル	32組み：01-32
ID	01~99
● 電源	
リチウム電池内蔵	7.2 V/2600mAhリチウムイオンバッテリー
充電時間	約1.5秒でフラッシュが準備され、緑色のLEDが点灯
フルパワーフラッシュ回数を500回	
省エネ	動作なし3、10、30、60を設定することができ、ベルが付いた後にスリープ状態に入りま
● 同期トリカ方式	ホットシュー、2.5mm同期ライン
● サイズ	
体積	199*71.5*60 mm
正味重量(バッテリーを除き)	390g
ます)	
重量(バッテリーを含みます)	500g

メンテナンス

- フラッシュは動作中、異常を発見した場合、直ちに電源を切り、原因を究明しなければなりません。
- ライト本体は振動を避け、表面のほこりをふだんに注意しなければなりません。
- ライト本体に少し熱があるのは正常な現象で、特に必要がない時、連続して点滅しないでください。
- フラッシュライトのすべての修理は、すべて当工場が指定した元の工場部品の修理部が担当します。
- 1年間の保証、ライトなどの消耗品は、1年間の保証の範囲にありません。
- 発見したところ、無断でこのフラッシュを点検した場合、フラッシュの1年間の保証期間を廃止し、修理には関連費用を徴収することになります。
- 本品が故障したり、水に濡れたりした場合は、専門家が修理した後、そのまま使用することができます。
- 技術的な変更は予告なしに行われるので、あらかじめご了承ください。

製品の修理保証

ご使用者様、本修理保証カードは修理保証の申請用の重要な証明書でございます。販売店にご協力いただき、ご記入とご保管ください。ありがとうございます。

製品情報	型号	製品のバーコード
ご使用者情報	名前	電話番号
	連絡先	
販売店情報	名称	
	電話番号	
	連絡先	
	販売日期	
備考欄		

本表は販売店より捺印が必要。

修理保証に適用しない場合

もし製品は以下の状況があるなら、本書類で記入された保証とサービスに適用しません。①製品または部品は相応な修理保証期間を超えること；②正しくなくて使用、メンテナンス、保管によって故障や損壊を起こすこと。例えば：不適当に運搬；製品の合理的な予期の用途で使用しないこと；不適当に外部設備を挿したり抜いたりすること；落ちることや押しつぶすこと；不適当な温度、溶剤、Ph、湿っぽい環境の中に置くこと；③神牛が授權されていない機構または整備員より取り付けたり、修理したり、変更したり、添付したりしたり分解したりすることで起こした故障と損壊；④製品または部品のもともとの標識マークが修正し変更されたり、削除されたりすること；⑤修理保証カードがないこと；⑥非合法的な授權、標準街、公開されていなくて発行するソフトウェアなどを使用して起こした故障や損壊；⑦不可抗力や事故で起こした故障や損壊；⑧ほかの製品自体で起こした故障や損壊ではないこと。上述の状況であれば、関連の責任者と解決対策を求めてください。我々はそれに対していかなる責任を持ちません。修理保証期間外や修理保証範囲外の部品、付属品、ソフトウェアなどで使用しなくなることについて、修理保証範囲内の故障ではありません。使用中、製品の正常的な脱色、摩耗と消耗は修理保証範囲内の故障ではありません。

製品の修理保証とサービスサポートとの情報

製品の修理保証期間とサービスタイプとは『製品修理保証情報』によって実施します。

製品類別	オプションの名称	修理保証期間	修理保証サービスの類型
部品	電気回路基盤	12	顧客より修理出し
	電池	3	顧客より修理出し
	充電器、電源線、同時線などの帯電性能の部品	12	顧客より修理出し
そのほか	フラッシュチューブ、造形の電球、ケース、保護カバー、ロック装置、包装等	なし	修理保証なし

神牛製品のアフターサービス電話番号：+86-755-29609320-8062

適用的製品

本書類は『製品修理保証情報』（後記の説明をご覧ください。）に関する製品シリーズに適用して、そのほかの本範囲に属していない製品あるいは部品（セール品、贈り物、ほかの出荷後の添付した部品等）はこの修理保証承諾に属していません。

修理保証期間

製品及び関連部品との修理保証期間は『製品修理保証情報』で実施します。修理保証期間は製品を初めて購入するときから数えて、購入日は購入するときに修理保証カードで記入された日期を基準とします。

修理保証サービスの獲得方法

修理保証サービスを要求したら、直接に製品の販売店または授權されたサービス機構と連絡できます。神牛のアフターサービスに電話をかけることもできます。我々のサービス員はサービスを手配します。修理保証を申請するときには、証明書として有効的な修理保証カードを提供して修理保証が得ることが出来ます。有効的な修理保証カードを提供できないなら、我々は製品または部品が修理保証範囲に属することを確認したうえ、修理保証サービスも提供できませんが、それはわれわれの義務となりません。